

“鮮度一番！” No.236

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとつとコラム
- 2～3 / 第23回三条女性会議総会 記念講演より 最終回
- 3～4 / 運営委員会で話し合われたこと 編集後記

・・・ひとつとコラム・・・

父に贈る言葉

兼古和枝

昨年3月、父が亡くなりました。上越で暮らしていた両親を三条の高齢者向け住宅に迎えて3年目のことでした。

父は車椅子生活の母の介助が日課で、甲斐甲斐しく母の世話を焼いていました。これといった仕事の無い父にとって、自分が必要とされていることが嬉しかったのでしょう。父は健康で頭もまだまだしっかりしていたので、会社の内職仕事や、おやこ劇場のボランティア活動にもちょいちょい関わってもらいました。観劇用のベンチ作りや、おもちゃのキット作り等、工夫が必要な作業をする時の父は生き生きとしていました。私はアイデアを絞る父の笑顔が見たくて、いつも次の「課題」を考えていました。母だけでなく、私も父を必要としていると伝えたかったからです。

85歳で初めて故郷を離れ、勇気を奮ってスタートした新生活。父は車の免許を返納し、上越の家や工場、土地を手放し、着々と終活も進めてきました。全ての事務処理が終わった頃、「お母さんのこと以外、何も心配するものが無くなった。」と力が抜けたように体調を崩して入院。たった半月であっけなく旅立ったのです。まるで残り時間を計算していたかのような最期でした。

あれから1年。父が心残りにしていた母は・・・思いのほか元気です。ゆるい認知症に救われています。その上いつの間にか自分で車椅子を漕げるようになり、短い距離なら歩行器で歩けるようになったではありませんか！びっくりです。運動量が増えたので、痩せて健康検査の数値まで良くなりました。父の愛が、母の潜在能力にフタをしていたんですね。

父には気の毒ですが、この調子だと母はかなり長生きしそうです。

「お父さ～ん！今までどうもありがとう！

お母さんのことは心配なくて大丈夫。お疲れ様でした～！」

家庭教育の大切さについて
～教育現場と少年センターをとおして見えてきた子どもの今～
講師 梅津玲子
(新潟県立大学非常勤講師/新潟県社会教育委員等)

生きる力とは何かというと文科省では「確かな学力・豊かな心・健やかな体」としています。確かな学力とは基礎的な知識や技能を習得し、それらを活用して自ら考え、判断し、表現することにより、さまざまな問題に積極的に対応し解決する力であると説明しています。そして、豊かな人間性については、自らを律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心や感動する心と説明しています。

テレビを消して、親子がたくさん触れ合えばよいのです。親から子どもへの言葉の刺激、からだのふれあいが脳をおおいに刺激し、発達させます。ちなみに、テレビやビデオを見せると確かに子どもたちは興味を持ち、嬉々として画面を見ます。しかし、メディアによる刺激は視覚や聴覚の脳は刺激しますが、脳の前頭前野(思考する・コミュニケーションをはかる・抑制する・記憶する・意思決定する・集中力などにかかわる大事な脳)にはほとんど働きかけないことがわかりました。子どもの脳の発達にはよい影響はないのです。

では、どうすれば、脳の前頭前野が活性化するかといういろいろな体験、自然体験や家事の手伝いなどの生活体験をさせること、一桁の数をどんどん足していくような単純計算でいいのですがたくさんすること、あとは、読書だそうです。また、音読も効果があるそうです。「今学校でどんな勉強しているのか」と聞いてみてください。そして、「読んで聞かせてくれ」と言ってみたらどうでしょう。テレビをちょっとでいいですから消して、こんな時間を作ってみてください。ゲームをする時間はできるだけ短くしてこんな時間を作ってください。脳の前頭前野は活性化し、思考力やコミュニケーション能力はついていくと信じています。大事なことなので頭に入れておいてください。

「上手にほめて、きちんと叱る」～がこうで、こうしたからなどと具体的な内容でわかるように、納得いくようにほめてあげましょう。そして、結果重視ではなく、プロセスやその子の努力をよく見てあげてほしいと思います。そうすれば、粘り強い子になっていきます。また、ダメなことはダメと、悪いことは悪いと毅然とした態度で叱ってほしいと思います。ほしいものがある、だだをこねたら、買わない理由をわかるように、怒らないで十分に説明したり、「我慢できる～ちゃんは、私の自慢よ。大好きだよ」なんて声をかければ子どもはだだをこねるのをやめると思います。大事なことです。あとでなどと言わず、その場で教えるのがいいですよ。

1700年代に活躍したフランスの思想家・文学者のルソーは「エミール」という著書の中で「子どもをダメにするのは簡単だ。ほしがるものを際限なく与えればよい」と言っています。ダメなことはダメ、ほしいものは努力して手に入れるよう教えていく、子どもをダメにしたくなかったら、キーワードを思い出してください。

最後になります。

子どもは宝です。親も子育てしながら、子どもから多くのことを学びます。そうやって、親も成長させてもらっています。子どもの行動からずいぶん反省させられたり、努力したり…。子育ては親育てでもあるんですね。子どもから学習の機会を与えてもらったことは感謝すべきことだと思います。何と云っても子どもは大事な宝です。たっぷり愛してあげてください。「大好きだよ」と言ってあげてください。明石家さんまさんの娘さんで「いまる」さんというお子さんがいます。どうしていまるかわかりますか？さんまさんはご家族を火事で亡くしています。ですから、命の大切さについてはわかりすぎるくらいわかるのです。そして、大竹しのぶさんとの間に生まれた命に「生きているだけでまるもうけ」という意味で「いまる」と命名したそうです。さんまさんのようなこんな気持ちを私たちも大事にして「聴く」「待つ」「ほめる」、子どもの心にしっかりと寄り添ってほしいと思います。

子育ても、一人で何でも解決しようなんて思わないで、隣のおばさん、近所の方々に相談されるとよい

ですね。かわりができれば親も子どもも孤独になることはないのですから。

決して、一人で悩まないことですね。友達や近所の信頼できる方や学校の先生や親せきやいろいろな方とつながって、相談しましょう。

そして、子どもから手を離しても、目を離さないようにしてください。ちょっとした変化もすぐに気付いてあげてください。

今日はたくさんのお話をさせていただきました。最後まで保護者になったつもりで静かにお聴きくださりありがとうございました。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成31年2月6日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 三条市男女共同参画センター

少雪の冬となりましたが、これも地球温暖化の影響となれば、単純に喜んでばかりはいられません。自分や家族を大切にするように、環境にも優しい暮らしを目指していきたいものです。

次回の運営委員会は、3月6日(水)午前9時30分から、男女共同参画センターで行います。どなたさまも気軽においでください。

1. 研修会&新年会を終えて

1月19日(土)午後3時より男女共同参画センターにて、「自分も相手も大切に！～ストレス知らずの毎日を過ごす方法～」講師土田陽子さんを迎えて出前講座を行いました。

講座では、私たちが女性学で一番に学んだ「自分を大切にすること」から「相手を大切にすること」そして、ポジティブスイッチを入れて、笑顔でストレス知らずの毎日を過ごす方法を学びました。講師の土田さんの明るい話し方に吸い込まれ、参加型の楽しい講座でしたが、出前講座の目的は、男女共同参画社会の推進にあり、それを充分学んだ当会の皆様へは、心にフタをしている人の話に耳を傾け、声を聞く役割を担ってほしいともおっしゃられました。

引き続き5時から同じ建物(三条ものづくり学校)にあるO256bistro&meals(ゼロニゴロク)で行った新年会には、14名が参加しました。

とってもおしゃれな雰囲気の中で、とっても美味しいお料理、とっても素敵なオーナー汐見さんと「とっても」3連発の大満足のお店でした。水・木は、定休日ですが、お昼や夜のお食事にどうぞご利用ください。お勧めします！！



2.

各種講座のお知らせ

◆コミュニティ活動団体交流会・まちづくり講座

「笑う門には福来るの方法」

▽日 時 2月23日(土) 1:30~3:30

▽会 場 三条市教育センター ホール(栄庁舎内)

▽講 師 石田武氏(劇団 EASTONES 座長)

▽申込・問合せ 三条市市民部地域経営課 TEL34-5646

参加費無料

◆身近なことほど、よく知らない

「みなと物語 ふたりの視点 私はココにシビれた！」

▽日 時 2月23日(土) 14:00~16:30

▽会 場 新潟県女性センター (新潟ユニソンプラザ2F)

▽内 容 千四百年みなとのはなし
演劇「ポンコツ港の水滸伝」のネタばらし等

▽申 込 電話 090-4002-0809 堀

参加費無料

◆身体と心を調える マインドフルネス体験セミナー

▽日 時 3月10日(日) 10:00~16:00

▽会 場 新潟県女性センター (新潟ユニソンプラザ2F)

▽講 師 中野民夫さん(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

▽参加費 5000円(三条女性会議会員には、割引あり)

▽一時保育あり(要予約 生後6ヶ月以上子ども1人1日400円)

▽申込・問合せ 新潟県女性財団 電話 025-285-6610

編集後記:

暖冬の二文字が嬉しく響きますが、やはり白いものがちらつくとこちらは身体の隅々に響きますねえ。そして、最終回を迎えた梅津先生の講演は、とても心に響きました。ありがとうございました。鮮度一番236号、どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページ： <http://www.joseikaigi.net>